

2024年(令和6年)

第74号

(7月4日)



発行所：立正佼成会 京都教会
 発行責任者：渉外部長 澤村悦玄
 編集委員長：渉外広報 植田恭司
 〒605-0041 京都市東山区三条東町 230
 TEL (075)762-2211 FAX (075)762-2266

世界宗教者平和会議 日本委員会 ～京都教会で開催～



(公財)世界宗教者平和会議(WCRP/RfP)日本委員会は、6月19日に「第28回評議員会」を京都教会で行ないました。同評議員会の席上、任期満了に伴う会長(評議員会議長)の改選を行い、これまで3期12年務めてきた庭野会長から同日本委員会評議員の杉谷義純師(81)=天台宗妙法院門跡門主が選任されました。同日本委員会が2012年に財団法人から公益財団法人に移行して以来、会長が交代するのは初めてとなります。庭野会長は、1987年から同日本委員会で評議員や常務理事を歴任し、2005年に理事長に就任。2012年の公益財団法人移行時から会長を務めてきました。京都教会会員はこの機に参集し、世界宗教者平和会議の歴史や庭野会長の多大な功績をビデオ視聴しました。

その後、感謝の気持ちを述べ、花束を贈呈。最後に参集者一同で庭野会長を囲み、記念写真の撮影を行いました。

評議員会後の記者会見で杉谷師は「宗教者として、戦争の犠牲者や災害の被災者にどのような支援が効果的かを研究し、また、意見交換を通じて各宗教が納得できる方向で活動を組み立て、お互いに研鑽を積んで少しでも光を見つけて実践していきたい」と抱負を述べました。

会見に同席した庭野会長は「WCRPは杉谷会長、戸松理事長の新たな体制で再出発します。諸宗教の活動によって、思いやりのあふれる社会、調和のある世界が実現することを心から願います」と退任のあいさつを述べました。



庭野会長を囲んで記念撮影



記者会見の様子



佼成デジタルに今回の記事が載っています。左記のQRコードからご覧下さい。(動画もあり)

<https://shimbun.kosei-shuppan.co.jp/news/69802/>

教会玄関の蓮の花

4月に壮年部員3名で蓮根の植え付け作業を行いました。6月中旬は開きかけだったものが、21日の梅雨入りと共に見事に咲きました。



京都教会ビデオレター7月号 配信中 ～東教会長発～

ビデオレター7月号が京都教会のホームページで公開されています。パスワードは各支部長にご確認下さい。
<https://rkk-kyoto.jp/archive1/20240701>



左記のQRコードをスマートフォンで読んで、ご覧頂くことも出来ます。地区単位、各家庭においても視聴し、1ヶ月の修行目標とさせて頂きましょう。

令和6年、私たちは「日々感謝 にこにこ元気に出会いたい ありのままの私から」を実践して参ります。
 京都教会のホームページもご覧下さい。 <https://rkk-kyoto.jp/> (右のQRコードからご覧頂けます)



祇園祭山鉾巡行ボランティアオリエンテーション 木賊山を担当

6月23日、祇園祭山鉾巡行ボランティアオリエンテーションが東山開晴館の六原学舎で行なわれ、7月17日の前祭と24日の後祭のボランティア約700名が集まり、京都教会青年部と新宗連青年部24名も参加しました。



開式後の挨拶で京都・祇園祭ボランティア21会長の西川氏は「先の報道でもありましたが、このお祭りはパレードではない。神事であることを自覚して下さい」とボランティアの心構えを述べるとともに「事故のないよう安心安全に、熱中症対策も十分にして下さい」と注意喚起しました。

八坂神社の野村宮司は「千年以上も続く祇園祭は祈りの祭りで神さまの祭りであり、どのような天候でも中止はありません。当ボランティアの40年間、皆さまに支えて頂きました。皆さまの熱い思いは尊いものです」と感謝の気持ちを述べられました。

また、公益財団法人祇園祭山鉾連合会の木村理事長は「大勢のボランティアに支えて頂けることが有難いです。皆さんのキビキビした動きが見て下さる方に感動を与えます」と期待を寄せられました。

公務の合間に駆け付けた松井市長は「市長として初

めて参加させていただきます。これだけのボランティアの方々を見ると壮観です。この祭りが多くの方々を支えて頂いていることに感謝するとともに、市としても連絡を密にして支えていきたい」としました。

ボランティアリーダーの紹介、全体説明後、災害防止の観点から今年初めて大塚製薬株式会社から『熱中症からカラダを守ろう』と題し、約15分間の講話に全員が耳を傾けました。その後は各山鉾に分かれ、集合時間や持ち物などの説明が行われました。

東山開晴館での打ち合わせ終了後は、ボランティア全員が八坂神社へ移動。昇殿参拝とお祓いを受け、巡行当日までの約3週間、心身を整えていくこととなります。

なお今年、両青年部は17日巡行の木賊山（とくさやま）を担当します。



京南支部「惜しみなくつながろう、出会おう話そう会」

京南支部は5月22日と6月8日に「惜しみなくつながろう、出会おう話そう会」と称して支部の集いを行ないました。



京南支部は京都府の最南端を包括地域としているため、日頃からなかなか教会に行くことが困難であり、今回は一般会員宅を借りて実施しました。5月は南方面で実施したところ幼児2人含め19名の参加、6月は北方面で実施し24名の参加でした。中には両日共に参加される方もおられました。

それぞれ東教会長さんのビデオレターを視聴し、3~4人ごとに分かれて法座。近況報告やビデオレターで教えて頂いたことを語り合い、皆さんがとても楽しんで会話されていたことが印象的でした。

お昼には、お弁当を頂き、その後はピンゴゲームで楽しい時間を共有することが出来ました。久しぶりの出会いに、皆さん、いきいき元気で、また元気を頂かれました。

